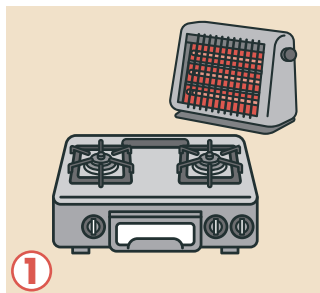


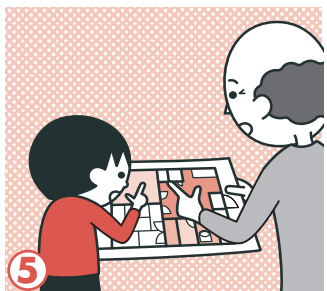
## 6つの対策



④ 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使用方法を確認しておく



① 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



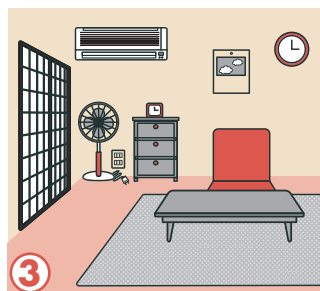
⑤ お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



② 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



⑥ 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う



③ 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する

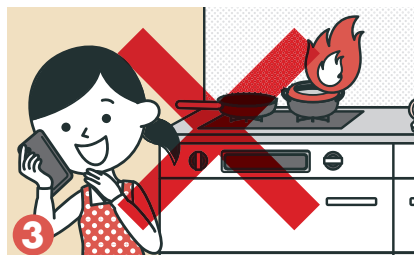
## 4つの習慣



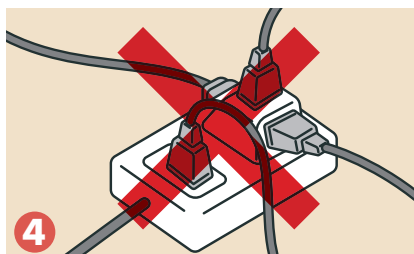
① 寝たばこは絶対にしない、させない



② ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



③ こんろを使うときは火のそばを離れない



④ コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

# 住宅防火 いのちを守る 10のポイント

## 住宅用火災警報器 ……電池は大丈夫？ 鳴りますか？

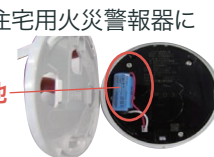


定期的な作動確認



点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり、定期的に作動確認をしましょう。

作動確認をしても住宅用火災警報器に反応がなければ、本体の故障か電池切れです。



ピピ…と鳴ったら取り替えどき

10年が交換の目安！

古い住宅用火災警報器は交換しましょう▶▶▶▶▶

10年

